

【神奈川県労働局長優良賞（安全確保対策）】（2事業場）

地域の中で、安全衛生に関する水準が特に良好で他の模範であると認められる事業場に対する表彰

○ 鹿島建設株式会社 横浜支店 横浜市旧市庁舎街区活用事業 既存建設解体工事

RC造一部S造1、地上4階、地下1階建ての旧市庁舎解体工事で、計画段階、施工段階と2段階のリスクアセスメントを実施し、より作業に即したリスク低減措置を考えながら施工を進めた。解体材の飛散防止や墜落リスク低減のため大型重機による解体工法を採用した。毎月開催する安全大会では、安全表彰を実施し、表彰の際には表彰理由を添え、表彰者の写真で紹介することで建設現場全体の安全意識の高揚とモチベーションの維持を図った。これらの取組を通じて、令和3年10月1日から令和5年6月30日までの解体工事を無災害で完工した。



○ 社会福祉法人同愛会 ダイア磯子

クリーニング業であるとともに障がい者の就労支援事業を行う事業場で、年間安全衛生管理計画に基づき、工場内の施設のリスクアセスメントを実施し、障がいを持つ労働者が健常者と同じように作業ができるよう一人ひとりの特徴や状況に応じた作業環境や配置の検討を行っている。毎朝のミーティングでは、意識付けが難しい中で繰り返し粘り強く、安全衛生教育を行っている。安全衛生委員会以外にも、障がいを持つ労働者の現場意見を吸い上げる部会を設けている。これらの取組を通じて平成27年1月10日以降、無災害記録を継続している。



【神奈川県労働局長奨励賞（安全確保対策）】（1事業場）

地域の中で、安全衛生に関する水準が良好で改善のための取組が他の模範と認められる事業場に対する表彰

○ J F E 鋼材株式会社 産機事業部横浜事業所

鋼板から各種製品の金属加工を行う事業場で、作業者自らが危険状態、危険な作業を洗い出し、リスク評価を行いリスクレベルの高い5件を許容できるレベルまで低減する「年間ワースト5活動」を実施している。安全衛生教育では、かつて自社で発生した災害を教材として「なぜ発生したか?」、「どうすれば防げるか?」をグループ討議して同種災害防止の活動を行っているほか、過去の災害のバーチャルリアリティー教材を作成し疑似体験をすることで災害の怖さを実感させ意識高揚を図っている。比較的災害の多い金属製品製造業で3年間無災害を続けている。



※ 労働安全衛生法では、働く人の安全と健康を確保し、快適な職場環境をつくるため、事業主に労働災害の防止に取り組むよう定めています。この表彰は、災害が起こっていない期間が特に長く、職場のリスクを低減する取組が特に活発に行われているなど、他の模範と認められる優良な事業場をたたえるものです。